

## 第 29 回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：読売新聞社賞（低学年の部）

タイトル：ほっとしたよ、おまわりさん。

氏名：五十嵐 千佳（イガラシ チカ）

小学校名：秋田県 男鹿市立船越小学校 二年

わたしが一年生のときの、学校のかえりみちのことです。わたしの黄色いぼうしが、つよい風でとばされて、田んぼのよう水ろにおちてしまいました。色いろさくせんを考えてひろおうとしたのですがとれません。わたしはどんどんかなしくなってきました。そこへちょうどパトカーがやってきました。いっしょにいたお友だちが、

「手をあげると、とまってくれるよ。」

と教えてくれて、手をあげるととまってくれました。わたしが、おまわりさんに、

「風でぼうしがおちてしまいました。ひろってください。」

とおねがいすると、ひろってくれました。

「ありがとうございます。」

と言ったら、

「気をつけてね。」

と言ってぼうしをかえしてくれました。そしてパトカーにのって行ってしまいました。

わたしは、うれしさと、ほっとした気持ちになりました。ぼうしのかたちはいっけんらくちやくです。そしたらぼろぼろなみだが出てきました。なきながらいえへかえったわたし。いえではおかあさんがまっていました。わたしは、こえを出してなきました。それから、おかあさんにぼうしのかたを話しました。おかあさんは、

「おまわりさんが、たすけてくれてよかったね。」

と言ってくれました。

あのときたすけてくれたおまわりさん、ぼうしをひろってくれて、ありがとうございます。わたしも、おまわりさんが、わたしにしてくれたときみたいに、こまっている人がいたらたすけてあげる人になりたいです。わたしは、このことをぜったいにわすれません。

今わたしは二年生です。一年生のせんぱいとして、一年生のお手本になるように心がけています。おまわりさんも、おしごとがんばってくださいね。おうえんしています。